

ことねぎだより

2017年5月号 NO.120 WEB:kotokyoto.co.jp TEL:075-601-0668

今年も新たな農人が
加わりました。
こと京都にとへての
新しい風です。
昨年一五周年を経て
先月には冷凍工場
が竣工し、会社と
しての土台が整い、
今後の課題に向けて
出発していきます。



今月の ことねぎ

● 今月、みなさまにお届けする
● 九条ねぎが京都でどのように
● 育ったものなのか、物語（事）
● を少しでも知っていただき、
● より美味しく召し上がって、
● ただければと思います。



この時期は葱にも「葱坊主」という花が咲く頃。ただ、葱坊主が出てしまうと葉が固くなり、春葱としての美味しさが損なわれてしまいます。畑では農人たちが日々の状態を見極め葱坊主が出る前に収穫。加工部では固さ等の状態を見ながら選別した葱のお届け。

冷凍京野菜の流通に向けて！ part.2

こと京野菜・冷凍工場の稼働

先月、竣工式を無事に終え新しいパートの方々を迎え冷凍野菜を製造しています。ひとつひとつの工程を皆で確認・共有し、課題をクリアしながら進んでいます。



畑・川・山に囲まれている亀岡工場



堀川ごぼうの原料カット



九条ねぎの冷凍レーン

今年の二十四節気より 四季の「こと」

季節の移ろいをこまやかに感じとり、自然の流れによりそう昔ながらの暦は、農作業の目安にもなる農事歴でもあります。

一 阜 月 一

5日 りっか 立夏

暦上の夏となり、新緑に彩りが増し爽やかな晴天が続く頃。梅雨入り前の暑さでも風が吹くと心地よく、過ごしやすい時季。陽気が良くなり、太陽の光を浴びて万物がすくすくと成長する頃。農家の方々が田に苗を植える風景が見られる時期です。

21日 しょうまん 小満

古きよき暮らしの感覚に触れ
もっと四季を身近に

独立に向けてのやりがい



トラクター安全点検講習など実施し、みんなで学ぶ時間も

各期の研修生たちはこの春ステップアップし、新しい作業にも入れ、知識を増やせてますますやりがいを感じているようです。独立している仲間から実際の話など興味深く聞き入り、それぞれ将来独立する為に自分の知識にしていこうとしています。

京都市内の最高気温 23℃とここ最近ぐっと暖かくなりました。農人たちも薄着で作業してちょうど良い気温のようです。

突然の突風被害への対処

←山間地域の亀岡圃場、先日突然の突風に遭い、収穫間近であったねぎが倒伏するなどの被害がありました。出荷に大きな影響は出なかったものの、加工部の方では調整に苦戦しています。また、定植したばかりの圃場のマルチが剥がれてしまい、その補修に手間がかかっています。

→マルチを被せ直し、マルチの下に隠れた定植したねぎを穴からひとつひとつ顔を出して作業。雨上がりの圃場であったため、足場が不安定ながらもねぎを守りました。



こと農人

畑にいる農人たちの今を伝えます。